

2019 国立音楽大学大学院オペラ公演

歌劇

# ドン・ジョヴァンニ

K.527 全2幕  
(イタリア語原語上演/日本語字幕付)

W.A.Mozart

Don Giovanni

作曲:W.A.モーツアルト  
台本:L.ダ・ポンテ

指揮:大勝秀也  
演出:中村敬一  
管弦楽:国立音楽大学オーケストラ  
合唱:国立音楽大学合唱団

Cast	
10月19日	10月20日
ドン・ジョヴァンニ	甲野将也
レポレッロ	大島嘉仁
ドン・オッターヴィオ	菅野 敦
ドンナ・アンナ	北門華音
ドンナ・エルザーラ	浦野美香
フェルリーナ	太田友梨
マゼット	小山晃平
騎士長	島田恭輔 高橋正尚

スタッフ

- 声楽指導: 岩森美里 / 加納悦子 / 黒田博 / 澤畠恵美 / 福井敬
- 原語指導: 森田学 ■ 合唱指導: 安部克彦
- 音楽スタッフ: 佐藤宏 / 相田久美子 / 大園麻衣子 / 篠原明子 / 田村ルリ / 藤川志保 / 三澤志保
- 振付: 堀田麻子 ■ 装置: 鈴木俊朗 ■ 衣裳: 半田悦子 ■ 照明: 山口晓
- 舞台監督: 徳山弘毅 ■ 演出助手: 古川真紀

2019 10/19(土)・20(日) 午後2時開演 国立音楽大学講堂大ホール  
西武拝島線/多摩モノレール「玉川上水駅」下車徒歩7分  
公演当日は学生駐車場(大学正門横)を無料でご利用いただけます。

入場料 SS席:¥4,000 プレ・トークにご参加いただけます。  
詳細はチラシ裏面または大学公式Webサイトをご確認ください。 / S席:¥3,000 / A席:¥2,000 (全席指定)

★やむを得ない事情により出演者等が変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

★未就学児童のご入場、ご同伴はご遠慮ください。

★開演しますと、お席にお座りいただけない場合もございます。あらかじめご了承ください。

★入場料収入の一部は本学の奨学制度充実のための資金として、活用させていただきます。

糖から未来をつくる。

【特別協賛】Kanro 【主催】国立音楽大学 <https://www.kunitachi.ac.jp/> 【お問合せ】国立音楽大学演奏センター TEL:042-535-9535

チケット取扱

チケットぴあ <http://pia.jp/> ..... TEL:0570-02-9999  
ファミリーマート、セブン-イレブン、チケットぴあ店舗 .. (Pコード:154-626)  
国立音楽大学書籍売店(宮地楽器) ..... TEL:042-537-8200  
宮地楽器ららぽーと立川立飛店 ..... TEL:042-540-6636  
宮地楽器小金井店ショールーム ..... TEL:042-385-5585



# 大学院オペラ —モーツアルト・オペラの真髄に迫る—

久保田慶一（国立音楽大学教授）

今年も国立音楽大学・大学院オペラの公演をお知らせする時期になりました。秋の恒例の行事ともなり、これまで多くの方々にご来場いただき、オペラの世界を堪能していただけたと思います。「大学院オペラ」と呼ぶように、キャストとして出演するのは、大学院オペラ専攻の学生です。そして歌曲専攻の大学院生や修了生などが「助演」として参加します。またオーケストラは主に学部学生による「国立音楽大学オーケストラ」ですが、卒業生、修了生、そして教員も参加しています。

「大学院オペラ」とはいっても、学部、大学院、そしてOB、OGが参加する一大イベントといえましょう。それだけにオペラ公演の音楽的水準も高く、「学生さんの発表会か」と思って聴きに来られる方は、もれなく感嘆の声をあげられるものです。もし「まだ」という方がおられましたら、ぜひこの秋に感動を共有していただければと思います。

さて、この秋の公演題目は、モーツアルトのオペラのなかでも、ひときわ人気の高い『ドン・ジョヴァンニ』です。ウィーンでは不評だったオペラ『フィガロの結婚』ですが、プラハでは大評判となります。これに気をよくしたモーツアルトがプラハの聴衆にプレゼントしたのが、このオペラです。プラハでの初演が1787年10月29日ですので、今から230年以上も前になります。

日本で「ドン・ファン」と言えば、女たらしの代名詞。このドン・ファンのイタリア語が「ドン・ジョヴァンニ」です。スペインの伝説に登場する、まさに女たらし、好色漢という人物です。これまで文学や戯曲の主人公となり、多くの作品が生み出されています。台本作家ダ・ポンテと作曲家モーツアルトのコンビによるこのオペラも、こうした「ドン・ファン神話」の産物なのですが、なんといっても、モーツアルトの鬼気迫る音楽の魅力に

**大勝 秀也** Okatsu Shuya, conductor

東京に生まれる。東京音大卒業後、88年ドイツに渡り、91年ゲルゼンキルヒェン市立歌劇場第一指揮者、94よりボン市立歌劇場第一指揮者。1995年3月／4月にはアメリカ、オーストラリアに演奏旅行を行なった。1996年7月よりマルメ歌劇場音楽監督に就任。1999年5月には同歌劇場管弦楽団とCD「バーンスタイル：ウエストサイド物語／ストラヴィンスキー：火の鳥」をリリースし、スペイン演奏旅行を行なった。

オペラ以外には、ボン・ペートーヴェン・ハレ管、北西ドイツ・フィル、ザグレブ・フィル等と協演。国内では、N響、新日フィル、二期会、日生劇場「日本オペラシリーズ」、関西二期会等で公演。06年6月／07年5月ボリショイ劇場で「トスカ」を公演。11年12月に金沢、高岡、翌年1月には新国立劇場で、泉鏡花原作、池辺晋一郎作曲の「高野聖」を初演。2012年10月大阪でフェラーリ作曲のオペラ「イル・カンビエッコ」を上演、2013年12月いづみホールで演奏会形式による、モーツアルト「イドメネオ」を指揮。

びわ湖ホールでは、2014年2月に「ホフマン物語」、2014年12月には「天国と地獄」、2015年12月にはドヴォルザーク「ルサルカ」を上演、好評を博した。また、2017年秋には全国共同制作オペラ「トスカ」を指揮、ドイツの薰り豊かな演奏が高く評価されている。

現在、昭和音楽大学非常勤講師。ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団正指揮者。

プレトークのご案内  
(SS券をお持ちの方のみ)

「ドン・ジョヴァンニ」の見どころ、聴きどころを、歌手として活躍している本学の教員と公演スタッフよりお話しいたします。SS券をお持ちの上、直接会場にお越しください。  
※チケット1枚につき、1回ご入場可。

よって、不朽の名作となっています。

貴公士ドン・ジョヴァンニは、まれにみる女たらし。その真実を知るのは従者のレボレッコだけ。結婚式の三日後に捨てられた妻ドンナ・エルヴィーラにも、こう歌って慰めます。「あんたは最初の女でも、最後の女でもないし、なかったし、またないでしょうね。まあ、この手帳を見てください。ジョヴァンニ様の女たちの名前がいっぱいですよ。イタリアでは640人、ドイツじゃ231人、フランスで100人、トルコで91人、でもスペインじゃもう1003人。…」

しかしジョヴァンニはこともあろうに、友人で名だたる騎士長の娘、そしてドン・オッターヴィオという許婚のいるドンナ・アンナに、身を隠して近づきます。ところがこのときばかりは大失敗。アンナは大声をあげて助けを求め、そこに父親の騎士長が現れます。愛する娘が襲われた騎士長は、この見知らぬ男(ドン・ジョヴァンニ)に決闘を挑みますが、はからずも殺されてしまいます。そしてこの事件をきっかけに、百戦錬磨のドン・ジョヴァンニの人生も狂いはじめ、一気に破滅へと向かうのです。まるで奈落の底につき落されるように。

懲りないジョヴァンニ、路上の女(実は捨てた妻エルヴィーラ)、結婚したばかりの農民の娘ツエルリーナ、元妻エルヴィーラの侍女と、次々に手を出しますが、周囲の人々の抵抗にあってことごとく失敗。そして追手を逃れて行きついた先が墓場でした。そこには殺害した騎士長の石像が。突然に石像の声がして、ジョヴァンニに回心を迫ります。しかしこの声に耳を貸すことなく、あぐくに石像を晩さん会に招待するのです。はたしてジョヴァンニの運命はいかに! それはオペラを観てのお楽しみとしましょう。

ご来場をスタッフ一同、心よりお待ちしております。

**中村 敬一** Nakamura Keiichi, stage director

オペラ演出家。

1957年東京に生まれる。はじめ、武蔵野音楽大学同大学院で声楽を専攻。卒業後、舞台監督集団「ザ・スタッフ」に所属してオペラスタッフとして活躍。以後、鈴木敏介、栗山昌良、三谷礼二、西澤敬一各氏のアシスタントとして演出の研鑽を積む。89年より、文化庁派遣在外研修員として、ウィーン国立歌劇場にて、オペラ演出を研修。帰国後、リメイク版「フィガロの結婚」、二期会公演「ドン・ジョヴァンニ」「ポッペアの戴冠」で、高い評価を得、続く二期会公演「三部作」、東京室内歌劇場公演「ヒロシマのオルフェ」、日生劇場公演「笠地蔵・北風と太陽」で、演出力が絶賛され、95年ジローオペラ新人賞を受賞する。また、2000年には新国立劇場デビューとなった「沈黙」が、高く評価された。01年ザ・カレッジ・オペラハウス公演「ヒロシマのオルフェ」で大阪舞台芸術奨励賞を受賞。また、オペラの台本も手がけ、02年国民文化祭鳥取で宮沢賢治原作、新倉健作曲「ポラーノの広場」の台本と演出を担当し高評を得ている。音楽的な視点と豊かな感性による舞台づくりは広く認められ、また若い声楽家の指導、オペラの普及に尽力している。

国立音楽大学客員教授、大阪音楽大学客員教授、洗足学園音楽大学客員教授、大阪教育大学講師、沖縄県立芸術大学講師。



19日(土)



ドン・ジョヴァンニ  
甲野 将也



レポレッロ  
大島 嘉仁



ドン・オッターヴィオ  
菅野 敦



ドンナ・アンナ  
北門 華音



ドンナ・エルヴィーラ  
浦野 美香



ツェルリーナ  
太田 友梨



マゼット  
小山 晃平



騎士長  
高橋 正尚

20日(日)



ドン・ジョヴァンニ  
小林 啓倫



レポレッロ  
照屋 博史



ドン・オッターヴィオ  
秋山 和哉



ドンナ・アンナ  
重田 莉



ドンナ・エルヴィーラ  
栗本 萌



ツェルリーナ  
北川 茉莉子



マゼット  
島田 恭輔



騎士長  
高橋 正尚

【座席表】

